

教科目名 美術（Fine Art）

学科名・学年：全学科 1 年（教育プログラム 第 1 学年 一般科目）

単位数など：選択必修 1 単位（前期 1 コマ，授業時間 19.5 時間）

担当教員：足利桂子

授業の概要			
人間には美的感性にあふれた創意と、それを表現したいと思う気持ちが本能的に備わっている. 自らの手を通し考え、想像し、感動を持ち創り出す活動の中で全人的な想像力や感性を高めることを目標とする。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(A1)
(1) 表現（描く作る）することを中心に表現の喜びを知る。 (2) 上手い下手ではなく、自己の持つ独創的なセンス・創意性を発見し具現化しようと試みる。 (3) 美術に親しみ、愛する心を身につける。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	第1章 形の表現 1.1 牛骨のある静物デッサン	・対象を描くことができる ・明暗（陰影）を付けることができる ・対象を見つめ完成することができる	課題① 自己評価表
	課題①提出		課題の点数
2	1.2 透視図法 ・ 一点透視図法と二点透視図法	・一点透視，二点透視図法を理解し，立体が描ける ・斜面，曲面のある立体が描ける ・陰影を付けて立体感をだすことができる	課題② 自己評価表
	課題②		課題②の点数
3	1.3 一点透視図法を使った立体的な空間表現（陰影，斜面，曲面含）	・正しい透視図法ができ陰影，斜面，曲面を入れることができる ・創造的な形の工夫ができる ・最後まで取り組み完成できる	課題③ 自己評価表
4			課題④ 自己評価表
5			課題④ 自己評価表
6	1.4 二点透視図法を使った立体的な空間表現（陰影，斜面，曲面含）		
	課題③，課題④提出		課題③，課題④の点数
7	第2章 デザイン 2.1 基本的な色彩	・基本的な色彩の配色ができ，配色により様々な感じのあることを知る ・調和，均整，律動，漸増等の構成を知り表現の無限性を楽しむことができる ・トナリカラーの切る，貼るが丁寧にできる	課題④
8	2.2 基本的な構成		課題⑤ 自己評価表
9			
	課題⑤，課題⑥提出		課題⑤，課題⑥の点数
10	2.3 専門工学の意匠 ・ 専門工学のイメージ探りとアイデアスケッチ	・専門工学のイメージを言葉で表現できる ・専門工学のイメージを絵で表現できる ・言葉や絵を自由に変化させ，ユニークな形を見つけようと試みることができる ・形の単純化を楽しむことができる ・トレードマーク形を創り出す楽しさを味わうことができる ・イメージに合う色彩を見つけ完成することができる	課題⑦ 自己評価表
11	2.4 マークデザインとTシャツデザイン		課題⑧
12			課題⑨ 自己評価表
	課題⑦，課題⑧，課題⑨提出		課題⑦，⑧，⑨の点数
13	第3章 3.1 現代美術の展覧会を観る	・新しい表現の美術作品に触れ，好きな作品の感想を記述することができる	課題⑩ 終了の感想表
	課題⑩提出		課題⑩の点数
履修上の注意	課題作品及び演習プリントの提出期限を厳守すること。		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	表現の手掛かりとなる資料は教員の方で適宜準備する。		
自学上の注意	所属する専門工学と美術の関わりを考える。		
関連科目	数学，製図，建築，環境		
総合評価	中間，期末試験及び再試験は実施せず，授業での課題10作品の評価とする。 課題10（課題作品9，鑑賞レポート1）×10点の100点とし総合評価60点以上を合格とする。再試験は実施しない。		【総合評価】 点